

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

再就職祝の旅路蜃気楼

弥生一丁目 大河原 信昭

●特選の選評

この人はおそらく定年まで真面目に、元氣にお勤めを終えられ、さて自分の時間を……と考えていたが、これまでの人柄を買われ、ぜひ再就職を勧められてOKすると、新就職の祝に「旅」が付いていた。前から見たいと思っていた「蜃気楼」。そしてこのすばらしい一句が生まれた。「おめでとー!」、私も一緒に旅をしているような秀句である。

俳句



加茂都紀女 先生

入選

色あせし亡父の蔵書の栞紐

西2丁目 木村 治子

春よ来い地中はとうに蠢きて

岩曽町 川室 正男

白酒や遺影に語る子の異動

平松3丁目 伊藤 安

校庭の櫻見上げて卒業す

江曾島本町 中村 元吉

特選

鍋の出汁愚痴と笑いと物価高夫の自慢をいつも必にす

清原台 篠原 富子

●特選の選評

「あはは、うふふ」と笑い声が聞こえるようで楽しそうです。鍋の出汁を最初に持ってきたことで、これは主婦同士のお喋りと分かり、愚痴と物価高を嘆き合い、最後の最後で夫の自慢を言い合う歌の組み方にうなりました。幸せはずっと続かないので、今のうちにたくさんお喋りしておきましょう。

短歌



藤本 都先生

入選

浮雲の微動だにせぬ佇まひ春の足音近づくを知る

大曾5丁目 岩淵 照美子

上一段活用はりりりりりりりりりると酔っぱらいの戯言みたいだ

御幸本町 池田 啓子

植木屋の鋏の音の響く中けんちん汁を少し濃く煮る

西原2丁目 久保川 賢一

松が枝に被さし昨夜のにわか雪零れて背戸の朝風に舞う

下岡本町 高尾 信尚

特選

困った子じやない困っている子です

日の出1丁目 大島 康正

●特選の選評

困った子と言われる問題児。親や社会に反発し友達関係もグクシヤク。それでも困った子には、そうやってしまっ環境や事情があつたのかも知れませんが、友達や親と上手に付き合っていくにはどうしたら良いか悩み、助言や助けを待っています。

川柳



佐藤隆久 先生

入選

巢立ちの日別れの先にある出会い

中今泉5丁目 志村 雄偉

道草を覚えて逸れるランドセル

中岡本町 竹内 竹ノ花

年金者春闘したい米値上げ

鶴岡町 西宮 久

クロッカスひそひそ話聞いている

岩曽町 金田 博子

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。

ID 1022877



▲市HP

表

裏

宇都宮市役所
広報広聴課
住所・氏名・ふりがな・壇名

作品への思い
作品への思い
作品への思い